

2021 年度 解析学特論 (Lebesgue 積分編) (担当: 松澤 寛)
自己チェックシート No.1

学科 (コース)・プログラム・領域 _____ 学籍番号 _____ 氏名 _____

1. 有界閉区間 $[a, b]$ 上で定義された有界な関数 f について S の分割 Δ に関する過剰和 $\bar{S}(f : \Delta)$, 不足和 $\underline{S}(f : \Delta)$ の定義を述べよ. また, f が $[a, b]$ 上で Riemann 積分可能であることの定義を述べよ.
2. f は閉区間 $[a, b]$ で有界であり単調増加あるいは単調減少とする (連続性は仮定しない). このとき f は Riemann 積分可能であることを証明せよ (単調増加の場合だけでよい).

Hint1 : $\Delta : a = x_0 < x_1 < \cdots < x_{i-1} < x_i < \cdots < x_n = b, I_i = [x_{i-1}, x_i]$ とするとき $\sup_{x \in I_i} f(x) = ?$,
 $\inf_{x \in I_i} f(x) = ?$

Hint2 : 任意の $\varepsilon > 0$ に対して $\bar{S}(f) \leq \underline{S}(f) + \varepsilon$ が成り立つことを導けばよい.

3. $S \subset \mathbb{R}^2$ は有界集合とする. このとき S の Jordan 内測度 $|S|_*$ と Jordan 外測度 $|S|^*$ の定義を述べよ. S が Jordan 可測であることの定義も述べよ.